



# 日銀ネットのネットワークインフラ の高度化について

---

# 日銀ネットのネットワークインフラの高度化

～その1 内容～

## < 内容 >

- ・ RTGS化（2001年1月実施）の定着という業務サービス面の高度化を踏まえて、ネットワークインフラ面についても以下の改善を行うもの。

### コンピュータ接続\*の改善

\*コンピュータ接続：日銀ネット利用先が自らのコンピュータを日銀のコンピュータと直接に接続する方式のこと。

### 日銀ネット端末の改善

電文フォーマット選択の柔軟性確保（国際標準の採用）

# 日銀ネットのネットワークインフラの高度化

## ～その2 目的と経緯～

### <目的>

ネットワーク技術や電文フォーマットの標準化などの進展に積極的に対応すること。

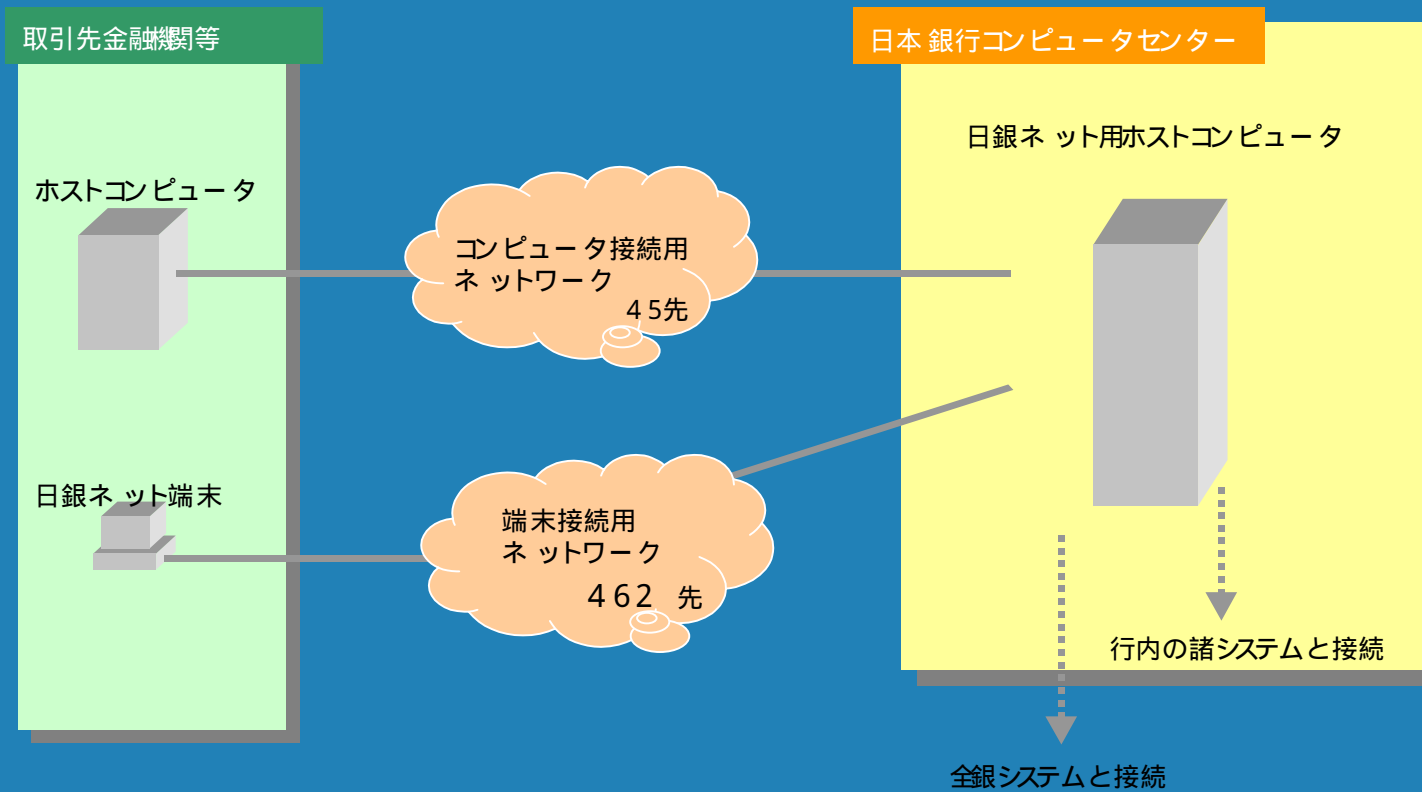
日銀ネットの一層の利便性向上と決済事務の効率性の向上を企図。

### <経緯>

(1) 2002年1月25日、「日銀ネットのネットワークインフラの高度化について」の公表により、広く利用先の意見を募集。

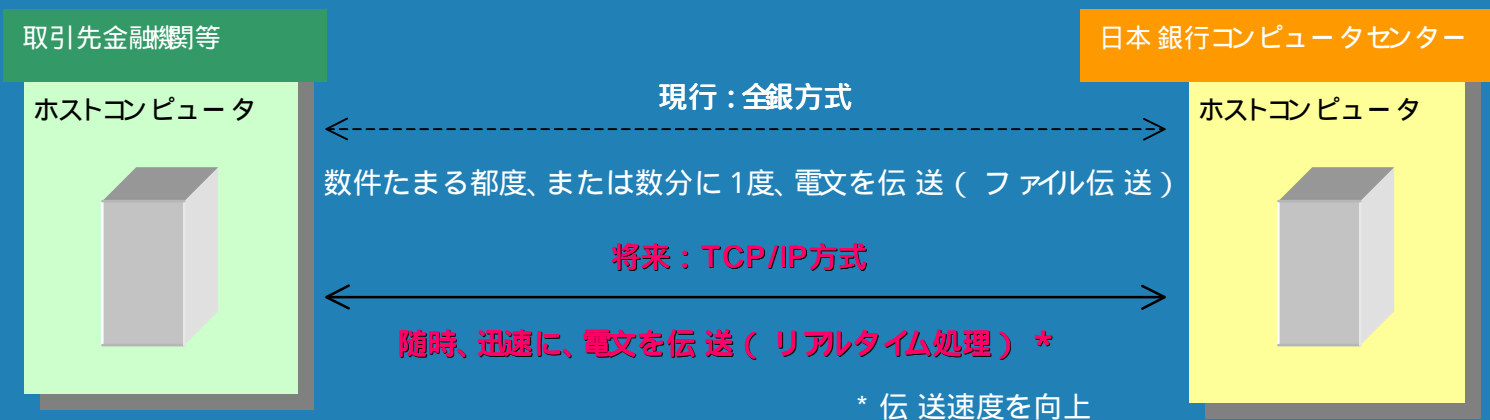
(2) 2002年3月28日、「日銀ネットのネットワークインフラの高度化について 関係者のご意見、ご提案を踏まえて 」の公表により、基本方針を確定。

# 日銀ネットのネットワークインフラの概要



# コンピュータ接続の改善

- ・ 通信手順（プロトコル）としてインターネットプロトコルを採用



# 日銀ネット端末の改善

## ・パソコンの使用可能化に向けての検討開始

< 現行端末：専用端末 >

< 新型端末：パソコン >



・受注から納品 までの期間  
・コストパフォーマンス  
等をパソコンの使用可能化  
により改善できないか検討



日銀ネット端末に対する信頼性や機能面でのニーズを見極めつつ  
パソコン使用可能化の早期実現に向け検討を開始

# 電文フォーマット選択の柔軟性確保 (国際標準の採用)

- ・ 現行の独自フォーマット電文に加え、以下の電文を選択可能とする。

## <日銀ネット当座勘定系>

外為円決済システムと同様なフォーマット（SWIFTフォーマットを基にしたもの）、具体的には「Bank Transfer」、「Customer Transfer」のグロス決済分と同様の電文を当座勘定系にも新設。

## <日銀ネット国債系>

新CPU接続利用先については、以下の国債の振替のための電文につきISO15022を基にしたフォーマットを選択可能とする。

国債受渡（資金同時受渡）（譲渡人・払出先）

国債受渡（資金同時受渡）（払出先・記事付）

口座振替（払出先）

口座振替（払出先・記事付）



## 終わりに

---

### <プロジェクトの現状>

4月以降、開発・検討作業に着手

### <今後>

開発・検討の進捗状況につき、早期に開示していく予定